

葉泳会通信

第6号

葉泳会通信第6号
平成17年7月18日発行
千葉大学葉泳会
<http://www.youeikai.com>
mail@youeikai.com
会員数 356名

今年の総会は8月27日(土)に開催

2012年のオリンピックはロンドンに決まりました。2004年のアテネ五輪のように、水泳で日本選手が活躍できるといいですね。

平成17年度の葉泳会総会は、8月27日(土)に西千葉プールで開催される葉泳会戦にあわせて開催します。

時間は昨年と同じ行く、12時から葉泳会戦、16時から総会です。17時から、西千葉キャンパス内のカフェテリアで懇親会を行います。

現役も女子が全国国公立に団体出場するなど燃えていますので、是非ご参加下さい。

<葉泳会戦次第>

○前半 (12:00~)

- 200mメドレーリレー
- 200m個人メドレー
- 100m自由形
- 100m背泳ぎ
- 100mバタフライ
- 100m平泳ぎ

○後半 (14:00~)

- 400m個人メドレー
- 50m自由形
- 50m背泳ぎ
- 50mバタフライ
- 50m平泳ぎ
- 200mフリーリレー

○水球

<総会次第>

○総会の部 (16:00~)

- 1 平成16年度報告(活動・会計)
- 2 平成17年度方針(活動・予算)
- 3 創部50周年記念総会(報告)
- 4 役員改選
- 5 現役活動報告
- 6 その他

○懇親会の部 (17:00~)

- 1 現役紹介
- 2 OB紹介
- 3 現役表彰(スイマー・オブ・ザ・イヤー)



恒例の昨年度の総会参加者全員による記念写真です。前回と同じ53名の会員が参加しました。

寄稿



創部50周年にあたり

葉泳会会長 佐藤 弘

本年は、昭和30年に園芸学部に入部された小山、柴田、鈴木、服部の4人の諸先輩が中心となり、現在につながる千葉大学の水泳部が創部されて以来、50年目となる節目の年となります。

当時、松戸の園芸学部にはプールが存在し、創部にご尽力された方々の中に、高校時代、地域において著名な選手であった方もおられて、創部に至ったと聞き及んでおります。西千葉地区にプールが存在しなかったこともあってか、昭和39年までの10年間は松戸での部活動が中心であったようです。

私が入部する前年の昭和39年のシーズン終了間際に西千葉地区の整備の一環のためか、現在の附属中学の西側に25米8コースの観覧席のついた瀟洒なプールが建設されました。翌年の昭和40年から昭和42年の9月までの3年間は、このプールを中心に部活動が営まれるようになりました。

現在は行われていないようですが、昭和39年に千葉県内の千葉商科大学、千葉工業大学、順天堂大学と千葉大学の4校の水泳部によって、手作りの「千葉県学生選手権」なる私設の第一回大会が開かれ、翌年の第二回大会は千葉大学の新設の西千葉のプールで開催されました。この大会で印象に残った他大学の選手がお二人ほどいます。

一人は千葉工業大学の中田さんという当時4年生の背泳の選手で、プロレスラーのジャイアント馬場を彷彿させるような大柄な体格で、無口で泳ぎも動作もゆっくりとした感じで、どの大会でも1000米を1分17～18秒で泳いでいました。山田洋二流に言うならば、この人は「気の優しい、力持ち」の人であったのかも知れません。

他の一人は千葉商科大学の沖田さんという平泳ぎの選手で、容貌は中田さんと正反対の猛々しい精かんな面構えの「余計なことは一切しゃべらない」といったタイプの人で、第二回大会の前日に西千葉のプールに何かの連絡にきて、当時、キャプテンの井口さんが「泳いでいったらどうか」と勧めたところ、クロールだけを泳いで帰ったそうです。ところが翌日の大会では、100米平泳ぎを1分18秒で泳ぎ、翌年はさらに1分14～15秒で泳いで周囲を驚かし、当時神宮プールで行われていた関東学生選手権の3部ではありましたが、2年連続で優勝をした記憶があります。大会の日に、沖田さんの平泳ぎを初めて見た井口さんが「ひとがわるいな」といった一言が愉快的な記憶として残っています。

おそらく多弁ではなかったであろうと思われる唯一の共通点をもった、中田、沖田のお二人があれから40年どのような人生を送られたのか聞いてみたい気がします。

この間、昭和40年の秋には、部室にあった創部以来の何冊もの大学ノートに記されていた日々の練習や大会の記録が整理され、毎年現役の皆さんより送っていただいている活動記録の第1号が、当時工学部印刷科3年の荻原さんの手により編集・印刷の運びとなりました。その奥付には住所と並んで制作場所が「千葉大学 片隅」と記されています。

昭和42年は、昨年葉泳会にも参加された高野、西本、森田の3氏のほか多数の有力な新入生が入部され、それまでの諸先輩の創部以来の活動を引き継ぎ、部活動が非常に盛り上がりを見せ始めた年でもありました。

このとき以降、品川からバスを借り切って大会会場の防衛大学まで往復し、往きのバスでは行楽に行くと思いをしたバスガイドさんから歌を歌われそうになったこと。この年、新潟の博覧会会場で行われた関東甲信越大会で優勝し、みんなで佐渡に渡ったこと。東部国公立大会に個人参加をし始めたこと。毎年葉泳会に参加される今田さんやキャプテンの多田さんが4年の時の昭和44年の神宮プールでの関東学生選手権では3部で準優勝をして2部に昇格したこと。当時、麻雀が盛んで誰かが「麻雀の徹夜は3日はできるだろう」と言ったら別の一人が「いくらなんでも2日が限度だろう」と言ったという話。昭和44・45年の関東甲信越大会では2連覇をしたこと。昭和45年の名古屋で行われた全国国公立の大会に森田君と高野君が参加し、森田君が200米の自由形を2分16秒で泳ぎ優勝し、帰りには監督の時田君と3人で名古屋の駅前でパチンコをし、東海道線を鈍行のグリーン車で帰ってきたらしいこと、等々ありました。このあたりが私の記憶するところでもあります。

標記のごとく、本年は千葉大学水泳部の創部50年目の年にあたり、来年の50周年記念総会の開催に向けて、葉泳会の各理事の方々が、記念集会、記念誌の準備に入っております。ご案内のには葉泳会の皆様にはご協力等よろしくお願い申し上げます。



現主将として

主将 松原一平

先日行われた東部地区国公立大学選手権では「男子9位、女子3位」という結果に終わり、女子は部の目標である全国国公立大学選手権への団体出場権を獲得し、男子は惜しくも団体出場権を逃す結果となりました。しかし、この結果は十分に納得のいく結果だと思えます。本当に1人1人が部のため、団体出場権をとるために頑張っていました。選手、マネージャーはもちろん、今回出場できずに応援にまわった人、応援にかけつけてくれたOB、OGさん。このうちの誰か1人が欠けても今回の結果は出せなかったと思います。

今回の大会を終えて、私が一番感じたこと、それはチームとして頑張ることの重要性だと思えます。私が水泳部に入部してから今まで、何度か先輩方に「水泳は団体競技だ」と言われたことがあります。しかし、私は今まで「水泳は個人競技」という見方しかできませんでした。けれど、今回自分が部の先頭に立ち、自分のためだけでなく「部のため、チームのため」一生懸命に泳ぎ、一生懸命に応援したことによって、目標達成がいかに大変であるかを学ぶと同時に目標を達成するにはチームとしての団結が必要不可欠であることも学びました。主将として、今回学んだことを後輩達に少しでも伝えていくのが今後の課題だと感じています。

私は、水泳を含む様々なスポーツには必ずセンスや才能の差があると思えます。それを感じてしまったとき、人は自分の限界を感じ、逃げ出したくなります。しかし、忘れてはいけないのは日本のトップスイマーと呼ばれている人々で努力を惜しんでいる人はいないということです。私はまだ、主将として、選手として、足りない部分があると感じています。しかし、それを感じられたからこそまだまだ成長できるのだと確信しています。努力を惜しまず、前向きに、より良い部活を作っていけたらと思っています。

現在の水泳部の練習時間は次のようになっています。

- ◆朝練 7:40~10:00 (11:00) 月・火・木・金・土 セントラルポートスクエアにて
- ◆正規練 16:20~18:00 月~金 千葉大学プールにて
- ◆遅刻練 18:00~19:40

この中から、土曜日の朝練と、正規練か遅刻練を1回以上含めた平日2日以上以上の練習には参加しようということになっています。このような最低基準が設けられていますが、みんな積極的に練習に参加しています。

朝練は、スポーツクラブのプールを営業時間前に借りて行っています。そのため、年間を通して泳ぐことができます。時間の関係上、1限に授業がある人は平日の朝練に参加することはできませんが、土曜日は全員で泳いでいます。

この他、毎週1回、新習志野の国際水泳場でも19~21時の時間帯で練習を行っています。

一人では乗り切ることができないような練習も、みんなで励まし合い、部員全員(選手、マネージャー)で頑張っています。一人一人が千葉大学水泳部の一員としての自覚と誇りをもって活動して行けるような部活を目指して日々活動しています。

《東部国公立水泳大会結果》

6月11・12日 平塚総合体育館プール

	男 子	女 子
50m自由形	佐藤 宏樹 (4年) 26" 07 棚井 悠 (2年) 26" 36 青柳 年哉 (2年) 26" 82	浅野 佳菜 (1年) 29" 62 (予選) 29" 42 (決勝) 大森 裕子 (1年) 36" 21
100m自由形	棚井 悠 (2年) 58" 56 松原 一平 (3年) 1' 00" 58	浅野 佳菜 (1年) 1' 07" 85 (予選) 1' 04" 26 (決勝)
100m背泳ぎ	南 遼 (3年) 1' 04" 95 (予選) 1' 04" 09 (決勝) 青柳 年哉 (2年) 1' 10" 87	正田 香織 (2年) 1' 26" 31 (予選) 1' 25" 21 (決勝)
100m平泳ぎ	石原 剛 (3年) 1' 11" 28 (予選) 1' 11" 33 (決勝) 成田 直浩 (3年) 1' 11" 28 (予選) 1' 11" 99 (決勝) 小島 裕明 (3年) 1' 11" 44	白川阿矢子 (3年) 1' 30" 20 (予選) 1' 30" 16 (決勝)
100mバタフライ	佐藤 宏樹 (4年) 1' 06" 27 山田 佑自 (1年) 1' 06" 29 小坂 洋平 (2年) 1' 37" 79	内田 早栄 (2年) 1' 26" 08 (予選) 1' 21" 47 (決勝) 鶴飼麻優子 (2年) 1' 29" 33 宇津井 香 (4年) 1' 39" 25
200m自由形	和田 聖己 (1年) 2' 12" 79 畦地 洋輔 (4年) 2' 22" 79	南川 舞 (2年) 2' 35" 49 (予選) 2' 33" 28 (決勝) 村井智恵子 (2年) 2' 42" 96 宇津井 香 (4年) 2' 52" 86
200m背泳ぎ	南 遼 (3年) 2' 24" 58 (予選) 2' 21" 87 (決勝) 塚越 達大 (3年) 2' 28" 49 (予選) 2' 29" 01 (決勝)	正田 香織 (2年) 3' 07" 05 (予選) 3' 07" 67 (決勝)
200m平泳ぎ	小島 裕明 (3年) 2' 41" 10 (予選) 2' 40" 45 (決勝) 石原 剛 (3年) 2' 41" 44 成田 直浩 (3年) 2' 42" 77	白川阿矢子 (3年) 3' 12" 73 (直決)
200mバタフライ	山田 佑自 (2年) 2' 27" 04 (予選) 2' 27" 97 (決勝)	内田 早栄 (3年) 3' 07" 50 (直決)
200m個人メ	塚越 達大 (3年) 2' 35" 19 福村 志郎 (1年) 2' 45" 55 大城 祐 (2年) 2' 54" 27	蛸本 麻衣 (2年) 3' 00" 10 (予選) 2' 55" 31 (決勝) 鈴木 妙絵 (3年) 3' 08" 50 (予選) 3' 06" 42 (決勝)
400m自由形	和田 聖己 (1年) 4' 41" 72 (夕決) 畦地 洋輔 (4年) 5' 06" 25 (夕決) 小川 勝也 (1年) 6' 04" 97 (夕決)	南川 舞 (2年) 5' 38" 20 (夕決) 村井智恵子 (2年) 5' 41" 06 (夕決)
400m個メ	塚本 貴大 (1年) 5' 56" 66 (夕決) 平松 諭 (3年) 6' 32" 74 (夕決) 亀山 直哉 (2年) 7' 01" 98 (夕決)	蛸本 麻衣 (2年) 6' 21" 08 (夕決) 鶴飼麻優子 (2年) 6' 47" 71 (夕決) 鈴木 妙絵 (3年) 6' 48" 88 (夕決)
200m継泳 女子	浅野佳菜 (1年) 南川舞 (2年) 白川阿矢子 (3年) 蛸本麻衣 (2年) 2' 02" 57	
400m継泳 女子	蛸本麻衣 (2年) 南川舞 (2年) 内田早栄 (2年) 浅野佳菜 (1年) 4' 38" 15	
400m混継泳男子	南 遼 (3年) 小島裕明 (3年) 山田佑自 (1年) 棚井 悠 (2年) 4' 18" 18	
400m混継泳女子	南川 舞 (2年) 白川阿矢子 (3年) 蛸本麻衣 (2年) 浅野佳菜 (1年) 5' 18" 63	
800m混継泳男子	和田聖己 (1年) 棚井悠 (2年) 佐藤宏樹 (4年) 佐々木克幸 (2年) 8' 51" 55	
	総合9位	総合3位

今年の役員会は平成17年6月18日（土）、役員11名、現役3名の計14名で開催しました。議事は、①16年度会計報告、②17年度活動方針、③17年度総会開催、④現役活動報告、⑤会報発行、⑥創部50周年記念事業、⑦葉泳会役員改選 などです。詳細は、8月27日（土）開催の葉泳会で報告します。

<水泳部創部50周年記念について>

平成18年の秋に千葉大学水泳部の創部50周年記念総会を開催することは、すでにお知らせしていますが、いよいよ来年に迫ってきました。役員会では、記念誌部会（森田部会長、1971年卒）、式典部会（品川部会長、1988年卒）の2部会で準備を進めることになってはいますが、仕事に家庭に忙しく？思うように進んでいません。最後はエイヤ！で行きますが、アクセルを踏む時期が来ましたら、部会長からお助けのボランティアを募りますので、その節はご協力よろしくお願ひします。

<記念誌に掲載する写真を集めています>

昨年もお願ひしましたが、50周年記念誌に掲載する写真を集めています。現在のところ、今田さん（45年卒）から提供がありましたが、いっこうに集まりません。50周年記念誌は、創部から現在までの歩みを、時代を象徴する水泳部や社会のトピックスをからませ、写真を中心に構成することを予定しています。

試合風景、練習風景、レクリエーション風景など、集合写真を中心に水泳部らしい写真がありましたら、事務局までお送りください。

◆1月中国蘇州より帰任、日本板硝子に引き続き勤務しています（1977卒・藤巻和彦） ◆今年4月から養護学校で養護教諭として勤めています。5人のこどもたち（中2～2歳）も皆元気です（1984・倉崎眞智） ◆私が千葉大学水泳部に入部した年（1985年）に生まれた子が今や現役世代！？何やら妙な親近感を抱いてしまいます。（1989卒・鈴木雅士） ◆昨年11月に結婚し、中野に住み始めました。運動をすっかりしなくなってから、ややふくよかになってきているこの頃です。もうしばらく泳いでいないので、来年はぜひ現役の泳ぎを見に行きたいと思ひます。（1990卒・飯沼卓也） ◆マレーシアに異動し3年目になりました。家族（4人）共元気で、一年中の水泳で、すっかり日やけし、現地人と間違えられることもるようです（1991卒・尾上健二／現地を訪問した義母様より） ◆今年さいごの離島暮らしです。本土に戻れば、フットワークが軽くなるかも（1994卒・鳥山勝弘） ◆10月に第1子出産を控え、猛暑&泳げないストレスに必死に耐えています。（1995卒・岩佐崇史・加奈子） ◆5月に結婚しました。相手は大学1年から8年間つきあった医水の人です（2000卒・奥村浩之） ◆6月26日に結婚致しました。今後とも宜しくお願ひ致します。（2001卒・渡辺義弘） ◆まったく泳いでいません。7/20に東京総合司令室に異動になりました。山手線は1193周で終了です。（2001卒・谷津和宏）

（昨年総会への出欠はがきから転載）

◆会費納入のお願い

会費は葉泳会の活動になくてはならないものです。現役の援助のためにも、会費の納入をお願いします。また、現役から送られてきた活動報告を今年も有償とします。会費の納入は以下に従ってお願いいたします。

- 1 納入金

会費	1口2000円（何口でも可）
活動報告代	1000円
合計	3000円

- 2 納入先
 - (1) 銀行振込の場合

受取人	千葉大学葉泳会
	千葉興業銀行 千葉支店
普通預金	0187411
 - (2) 郵送の場合

品川史彦 宛

◆葉泳会連絡先

事務局 鈴木正雄

jimukyoku@youeikai.com

会計 品川史彦

kaikai@youeikai.com

水泳部 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学体育会水泳部
マネージャー suieibu@youeikai.com

◆住所不明者

以下の方々の住所が不明です。ご存じの方は事務局までお知らせください。

卒年	会員（敬称略）
1964年	佐藤、安原
1965年	水野
1966年	田中
1969年	川辺
1976年	岡本、田中
1979年	目沢
1984年	石山
1085年	伊関、白井
1989年	沼田
1998年	西川

～編集後記～

今年の葉泳会通信は紙面構成を一部変え、現役の競技結果を掲載しました。▼タイムから見ると、現役もがんばっていると感じますが、男子のレベルは高く、全国公立の壁は厚いようです。▼「葉泳会通信」には住所不明者を掲載していますが、増える傾向にあります。残念！▼住所変更の場合は、是非ご一報下さい。▼昨年、葉泳会のホームページを立ち上げました。更新がなかなかできませんが、葉泳会会員間の橋渡しをするページですの時々覗いてみてください。▼現役が、ホームページをリニューアルしています。不思議なページですが、葉泳会のHPからリンクを張っていますので、覗いてみてください。▼では8月27日に西千葉で会いましょう！